

令和2年度 弘前大学学術特別賞授与実施要領

1. 趣旨

この要領は、弘前大学学術特別賞授与実施要項（平成23年9月9日制定）の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

2. 学術特別賞の対象

(1) 弘前大学学術特別賞（遠藤賞）（以下「遠藤賞」という。）

- ① 応募者は本学の教員であること。
- ② 独創的かつ完成度の高い研究で、平成22年4月以降に学術雑誌に発表されたストーリー性のある論文数編を対象とすること。
- ③ 研究は本学在籍期間中に行われ、研究内容が本学の研究水準の向上に著しく貢献したと認められるものであること。
- ④ 応募者は個人であること。

(2) 弘前大学若手優秀論文賞（以下「若手優秀論文賞」という。）

- ① 応募者は本学の研究者（学生、大学院生及び特別研究員等を含む。）であって、応募した年度の年度末に45歳以下の者であること。
- ② 独創的で著者の将来性を伺わせるに足る論文で、平成30年4月以降に学術雑誌に発表された論文1編を対象とすること。
- ③ 研究は本学で行われ、研究内容が本学の研究水準の向上に貢献することが期待できるものであること。
- ④ 応募者は個人であること。

3. 応募・提出方法

(1) 書類提出先

応募者は、次の書類（提出部数は別に定める。）を所属部局長に提出すること。

- ① 申請書〔様式1〕
- ② 応募対象論文一覧〔様式2〕
- ③ 略歴及び研究業績目録〔様式3〕
- ④ 応募論文の研究内容〔様式4〕

それぞれ別刷を〈添付資料〉として添付すること

(ア) 遠藤賞については、応募論文数編の概要を2,000字以内にまとめたもの及びそれらの別刷

(イ) 若手優秀論文賞については、応募論文1編の要旨を600字以内にまとめたもの及びその別刷

- ⑤ 当該論文が学術的な賞を受けている場合には名称、趣旨、受賞時期等その賞の概要（該当しなければ提出不要）〔様式5〕

- ⑥ 自己評価書〔様式6〕
- ⑦ 各種競争的資金等の採択実績〔様式7〕
- ⑧ 論文とは、様式3「略歴及び研究業績目録」のⅡ「研究業績目録」の1から3に記載されているものとする。
- ⑨ 当該論文が日本語又は英語以外の言語の場合には、その日本語訳〔様式は自由〕

(2) 部局長による取りまとめ

部局長は、提出された申請が対象として適切であることを確認し、学長に提出すること。

(3) 提出期限

令和2年8月19日(水)

4. 審査

学術特別賞の審査は、弘前大学学術特別賞審査要領に定める弘前大学学術特別賞審査委員会が行う。

なお、提出後に審査に必要な資料を追加で求める場合がある。

また、必要に応じて、論文内容に関するプレゼンテーション審査を行う。

5. 表彰等

(1) 表彰

学術特別賞の表彰は、学長が受賞者に対して様式8又は様式9に定める本賞表彰状を授与し、併せて副賞を贈呈することにより行う。

(2) 副賞

遠藤賞の副賞は宮田亮平氏が制作したトロフィー及び研究助成金(50万円)とし、若手優秀論文賞の副賞は盾及び研究助成金(佐藤敬賞, 20万円)とする。

(3) 受賞者数

遠藤賞の受賞者数については原則1名とし、若手優秀論文賞の受賞者数については毎回3名以内とする。

[様式1]

令和 年 月 日

弘前大学長 殿

所属・職名

氏 名

印

弘前大学学術特別賞申請書

弘前大学学術特別賞授与実施要項に基づき、必要書類を揃えて、
(弘前大学学術特別賞(遠藤賞) ・ 弘前大学若手優秀論文賞) ※ に応募しますので、
よろしくお取り計らい願います。

※いずれか一方を○で囲んでください。

応募対象論文一覧

応募対象	<input type="checkbox"/> 弘前大学学術特別賞（遠藤賞） <input type="checkbox"/> 弘前大学若手優秀論文賞 （どちらかにチェックしてください。）
所属・職名	○○○○ ・ ○○
氏名・年齢	○ ○ ○ ○ （ ○ 歳）
論文名	<p>学術特別賞（遠藤賞）への応募の場合には対象となる数編の論文全てを、若手優秀論文賞の場合には1編の論文を記載してください。学術特別賞（遠藤賞）については、InCites Benchmarkingに基づき、各論文に対しインパクトファクター値（IF値）、被引用回数、CNCI値、Top1%論文あるいはTop10%論文該当の有無を記載してください。若手優秀論文賞については、上記のうち、IF値及び被引用回数を記載してください。いずれの賞においても、客観的にアピールできる点があれば簡潔に追記してください。</p> <p>学術特別賞（遠藤賞）の記載例</p> <p>1. 著者名(応募者に下線)、論文名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)、IF値○、被引用回数○回、CNCI値○、Top1%論文 この論文がEditor's choiceに選出された。</p> <p>2. (以下同じ)</p> <p>若手優秀論文賞の記載例</p> <p>著者名(応募者に下線)、論文名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)、IF値○、被引用回数○回 優秀論文に選出され、雑誌の表紙を飾った。</p>
タイトル名	(学術特別賞（遠藤賞）への応募の場合のみ対象となる数編の論文を総括するタイトルを記載してください。なお、本タイトルは、学術特別賞受賞が決定した際の公表資料や、表彰状等に使用することとなります。)

[様式4]

令和 年 月 日

弘前大学学術特別賞 論文概要・要旨

応募対象	<input type="checkbox"/> 弘前大学学術特別賞（遠藤賞）	<input type="checkbox"/> 弘前大学若手優秀論文賞 (どちらかにチェックしてください。)
(所属・職名)		
(氏 名)		
(論文概要又は要旨)		
<p>遠藤賞については応募論文数編すべてについての概要を2,000字以内で、若手優秀論文賞については論文要旨を600字以内で記載してください。最低限必要な図表を1枚程度添付することは差し支えありません。</p>		

令和 年 月 日

弘前大学学術特別賞応募論文にかかる受賞概要

応募対象	<input type="checkbox"/> 弘前大学学術特別賞（遠藤賞）	<input type="checkbox"/> 弘前大学若手優秀論文賞 (どちらかにチェックしてください。)
(所属・職名)		
(氏名)		
(研究名又は論文名)		
(賞の名称)		
(受賞時期)		
(賞の概要)	<p>賞の授与者，趣旨，学会等における賞の位置付け等，賞の概要について簡潔に記載してください。複数の賞を受けている場合には，本様式を賞ごとに作成してください。</p>	

[様式6]

令和 年 月 日

弘前大学学術特別賞 自己評価書

応募対象 <input type="checkbox"/> 弘前大学学術特別賞（遠藤賞） <input type="checkbox"/> 弘前大学若手優秀論文賞 (どちらかにチェックしてください。)
(所属・職名)
(氏名)
(自己評価) <p style="text-align: center;">弘前大学学術特別賞の受賞候補としてふさわしく、その研究内容が本学の研究水準の向上に貢献した（又は期待できる）とする理由を記載してください。</p>

令和 年 月 日

各種競争的資金等の採択実績

応募対象	<input type="checkbox"/> 弘前大学学術特別賞（遠藤賞）	<input type="checkbox"/> 弘前大学若手優秀論文賞 (どちらかにチェックしてください。)
(所属・職名)		
(氏名)		
(採択実績)		
<p>各種競争的資金等の採択状況について、本研究に関連性があるものを選定し、科研費とそれ以外の研究費に分けて、次の項目について記入してください。</p> <p>それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入してください。</p>		

第 号

表 彰 状

令和〇年度
弘前大学学術特別賞（遠藤賞）

所属・職名
氏 名 殿

「授賞対象のタイトル名」

あなたの論文は独創的かつ完成度が高くその
研究内容が本学の研究水準の向上に著しく貢献
したものと認められました
よってその功績とこれまでの研鑽を讃えここに
賞します

令和 年 月 日

弘 前 大 学 長

○ ○ ○ ○ 印

表彰状

令和〇年度弘前大学学術特別賞
弘前大学若手優秀論文賞

所属・職名

氏 名 殿

「授賞対象の論文名」

あなたの論文は独創的かつあなたの将来性を
伺わせるに足りその研究内容が本学の研究水準
の向上に貢献することが期待できるものと認め
られました

よってその功績とこれまでの努力を讃え今後
一層の活躍を期待しここに賞します

令和 年 月 日

弘前大学長

〇 〇 〇 〇 印